WebVPN で使用する RDP プラグインを ASA 8.x でインポートする設定例

内容

概要
前提条件
要件
使用するコンポーネント
表記法
設定
ステップ1: RDP Java プラグインの取得
ステップ2: RDP プラグインの1ンポート
ステップ3: RDP 接続パラメータの定義(任意)
ステップ4: RDP サーバへの接続
ステップ5: 設定の検証
トラブルシュート
関連情報

<u>概要</u>

このドキュメントでは、WebVPN で使用するための Remote Desktop Protocol(RDP)プラグイ ンをインポートする方法について説明します。

<u>前提条件</u>

<u>要件</u>

このドキュメントに記載している手順を実行する前に、基本的な WebVPN を設定してください 。

<u>使用するコンポーネント</u>

このドキュメントでは、ソフトウェア バージョン 8.0(2) および ASDM バージョン 6.0(2) が稼働 する ASA 5510 を使用しています。WebVPN 経由で RDP プラグインに接続するために、 Windows 2003 Server が使用されます。クライアント デスクトップには JRE 1.4.2_05-b04 がイ ンストールされています。プラグインをコマンド ライン経由でインポートするために、TFTP サ ーバが使用されます。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このド キュメントで使用するすべてのデバイスは、初期(デフォルト)設定の状態から起動しています 。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的 な影響について確実に理解しておく必要があります。

<u>表記法</u>

ドキュメント表記の詳細については、『<u>シスコ テクニカル ティップスの表記法</u>』を参照してくだ さい。

<u>設定</u>

RDP プラグインをインポートして使用するには、次の手順を実行します。

<u>ステップ1: RDP Java プラグインの取得</u>

RDP プラグインは、WebVPN と互換性を持つ他のプラグインと一緒に <u>Cisco Software Center</u> か らダウンロードできます。RDP プラグインの詳細については、次の URL にアクセスして、参照 してください。<u>http://properjavardp.sourceforge.net/</u>

注:シスコのWebサイトで提供されているRDPプラグインは、JRE 1.4用に最適化されています 。他のJREリリースでRDPプラグインを使用すると、ユーザビリティの問題が発生する可能性が あります。RDP プラグインの問題を解決するには、デフォルトで使用される ssl server-version tlsv1-only コマンドの代わりに <u>ssl server-version any</u> コマンドを使用してください。

<u>ステップ 2 : RDP プラグインのインポート</u>

WebVPN で RDP プラグインを使用するには、プラグインを ASA にインポートする必要があります。

ASDM の例

- 1. ASDM アプリケーションで [Configuration] をクリックし、次に [Remote Access VPN] をク リックします。
- 2. [Clientless SSL VPN Access] を展開し、[Portal] を展開して、[Client-Server Plug-ins] をクリ ックします。
- 3. [Import] をクリックします。

Remote Access VPN 🗗 🕈 ×	Configuration > Remote Access VPN > Clientless SSL VPN Access > Portal > Client-Server Plug-ins
Network (Client) Access Gentless SSL VPN Access	Import plug-ins to the security appliance. A browser plug-in is a separate program that a Web browser invokes to perform a dedicated function
Connection Profiles	• Import 1 Delete
- S Port Forwarding	Client-Server Plug-ins
Smart Tunnels Smart Tunnels Customization Signit-Server Plug-ins Signit-Server Pl	R
🗈 🚽 AAA Setup	😤 Jansah Clinak Carrier Dian In
E - 👸 Secure Desktop Manager	import client-server Plug-in
Certificate Management DHOP Server Tass	Plug-in Name (Protocol): rdp
⊕	Select a file
	C Local computer
	Path: Browse Local Files
	C Flash file system
	Path: Browse Flash
	C Remote server
	Path Rp 💌 ://
	Import Now Cancel Help

- 4. [Plug-in Name (Protocol)] ドロップダウン リストから [rdp] を選択します。
- 5. [Local computer] オプション ボタンをクリックし、[Browse Local Files] をクリックします。 6. RDP プラグインを保存した場所を参照し、ファイルを選択します。
- 7. [Import Now] をクリックします。この [Information] ダイアログボックスが表示されます。

🔂 Information		×
į	Entry rdp has been sucessfully imported.	
	OK	

8. [OK] をクリックします。

コマンドラインの例

このコマンドラインの例では TFTP を使用して、WebVPN プラグインをインポートします。



<u>ステップ3:RDP 接続パラメータの定義(任意)</u>

RDP プラグインで接続する場合、URL 内の接続パラメータを定義することができます。

URL 内の RDP 接続パラメータを定義するには、次の手順を実行します。

1. ブラウザを使用して、VPN Service ブラウザ内の [Address] ドロップダウン リストから

CISCO SSL VPN Service



[rdp://] を選択します。

 次の画像で示すように、ホスト名または IP アドレスの後に前方スラッシュ(/)および疑問 符(?)を挿入し、個々のパラメータをアンパサンド記号(&)で区切ります。

Address rdp:// 💌 192.168.50.5/?geometry=1024x768&username=administrator&password=p@ssw0rd

3. ホスト名または IP アドレスの直後にポート パラメータを定義します。この例では、ポート 5587 が使用されています。

Address rdp:// 💌 192.168.50.5:5587/?username=administrator&password=p@ssw0rd

接続パラメータの完全なリストを表示するには、VPN Service ブラウザの左側にある [Terminal Servers] をクリックします。この表では、一般的なパラメータの一部を説明します。

WebVPN RDP プラグイン変数				
パラメ ータ	引数	定義		
consol e	あり	現在のコンソール セッションが定義さ れている場合、これを開始します。		
userna me	string	RDP サーバへのログインに使用される ユーザ名。		
passw ord	string	RDP サーバへのログインに使用される パスワード(非推奨)。		
ドメイ	string	RDP サーバへのログインに使用される		

ン		ドメイン名。
geome try	widthxhi eght	画面の高さと幅を定義します(例 :800x600 または 1024x768)。
port	integer	RDP ポート番号。デフォルトの RDP ポート番号は 3389 です。

注: RDSブックマークエントリでもRDP接続パラメータを使用できます。次の画像は RDP ブッ クマーク エントリの例を示しています。

🔬 Web Applications		
Browse Networks	Terminal Servers	E.
🤏 Terminal Servers		43

<u>ステップ 4:RDP サーバへの接続</u>

RDP サーバに接続するには、次の手順を実行します。

1. WebVPN セッションを確立し、[Address] ドロップダウン リストから [rdp://] を選択します

0
Address rdp:// 💌 192.168.50.5

2. 手順 3 で定義した RDP サーバの IP アドレスまたは接続パラメータを入力して、[Browse] をクリックします。RDP セッションが新規ウィンドウに表示されます。



<u> ステップ 5 : 設定の検証</u>

次の手順を使用して、RDP プラグインが正しくインポートされたことを検証します。

- show import webvpn plug-in コマンドを使用して現在の WebVPN プラグインを表示し、コマンドの出力に rdp がリストされていることを確認します。
- WebVPN に接続したとき、[Address] ドロップダウン リストの URI のオプションとして [rdp://] が選択できるか確認します。

<u>トラブルシュート</u>

RDP プラグインを使用しているときのエラーについて、トラブルシューティングを実行するには 次の手順を使用します。

- ブラウザ キャッシュのクリアこの手順では、ブラウザのキャッシュに現在格納されているす べてのファイルを削除します。Internet Explorer で、[Tools] > [Internet Options] を選択しま す。[Temporary Internet Files] セクションで、[General] タブをクリックし、[Delete Files] を クリックします。
- JRE キャッシュのクリアこの手順では、Java キャッシュに現在格納されているすべてのファ イルを削除します。Windows で、[Start] をクリックし、[Settings] > [Control Panel] をクリッ クします。[Control Panel] で、[Java Plug-in] をダブルクリックします。[Cache] タブをクリ ックして、次に [Clear] をクリックします。

- JRE のアンインストールおよび再インストールWindows で、[Start] をクリックし、[Settings]
 [Control Panel] > [Add or Remove Programs] をクリックします。[Java Runtime Environment] プログラムを選択して、[Remove] をクリックします。Java の Web サイト (<u>http://www.java.com/en/download/</u>) から新しい JRE をダウンロードし、新しい JRE をイ ンストールします。注: RDPプラグインは最適に動作し、JRE 1.4に最適化されています。
- RDP プラグインのアンインストールWebVPN にログインしたとき、Address フィールドの URI として RDP オプションがリストされていない場合、RDP プラグインをアンインストー ルしてから再インストールします。WebVPN から RDP プラグインを削除するには、次のい ずれかの手順を実行します。WebVPN : [Configuration] > [Remote Access VPN] > [Clientless SSL VPN Access] > [Portal] > [Client-Server Plug-ins] の順にナビゲートし、RDP プラグイン を選択して [Delete] をクリックします。CLI : revert webvpn plug-in rdp コマンドを使用して プラグインを削除します。

<u>関連情報</u>

・ <u>テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems</u>